

## 第3章 「美し国おこし・三重」の取組状況

～多様な主体が参画し、地域づくりの実践・展開を支援するしくみ～

### 1 「美し国おこし・三重」全体概要

「美し国おこし・三重」は、住む人も訪れる人も幸福を実感できる元気な三重の実現をめざす取組です。地域のさまざまな主体が、地域の特色ある自然や歴史・文化などを活用して自発的に取り組む地域づくりを基本に、平成 21 (2009) 年から平成 26 (2014) 年までの6年間にわたって多彩な催しを展開することにより、地域の魅力や価値を向上させ、発信するとともに、集客交流の拡大を図り、自立・持続可能で元気な地域づくりへとつなげていく取組です。

平成 20 (2008) 年に、県や市町、地域づくり実践者、企業等地域のさまざまな主体で構成する「美し国おこし・三重」実行委員会を組織し、平成 21 (2009) 年には、「地域での美し国おこし」の取組を始め、併せて平成 22 (2010) 年からは、県内各地のパートナーグループの活動の中から共通する分野の活動を連携し全県的・広域的な取組を推進する「テーマに基づき全県的に取り組む美し国おこし」に取り組んでいるところです。そして、「美し国おこし・三重」の取組の最終年である平成 26 (2014) 年には、6年間の取組の成果を県内外にアピールし、地域をよりよくしていこうとする三重の県民力を新たな時代に向かって拡大する県民力拡大プロジェクトを実施することとしています。

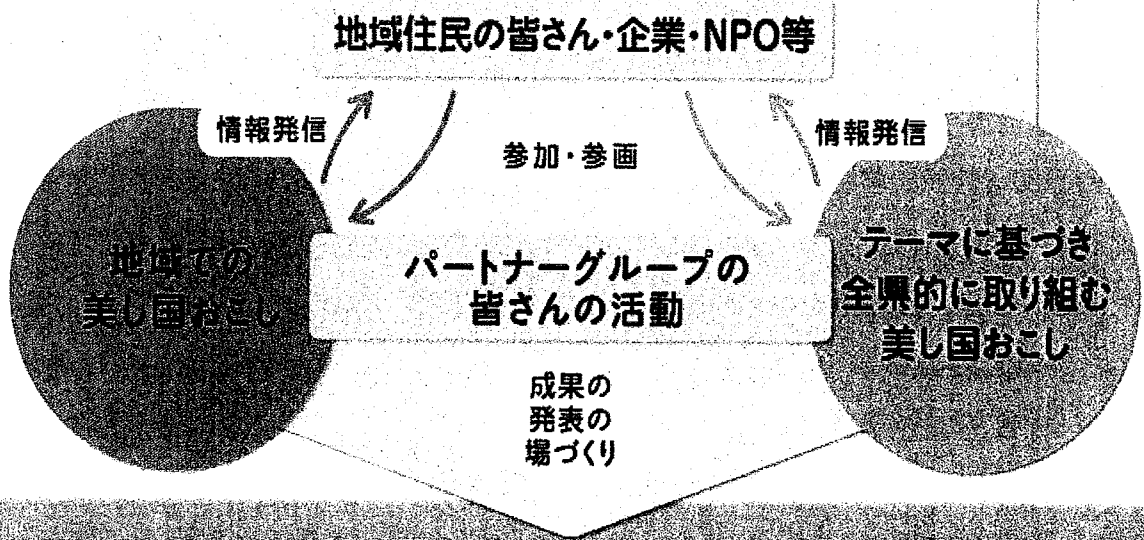
平成 23 (2011) 年度は、この取組の基本となる、地域の課題やビジョンを話し合う座談会を 588 回、取組の開始以降 1,812 回開催し、座談会をとおして地域をよりよくしていこうとする住民の皆さんにパートナーグループとして 79 グループ、取組の開始以降 342 グループに登録いただきました。また、拡大座談会を 22 回開催するなど、「地域での美し国おこし」の取組を進めました。

併せて、「テーマに基づき全県的に取り組む美し国おこし」において、「人と自然の絆づくり」を理念に、「海の命・森の命」をテーマとして、三重県全域に広がる自然の恵みを生かしながら豊かな暮らしづくりをめざすプロジェクト（ソーシャルレジャー、チャレンジキャンプなど）と、「人と地域の絆づくり」を理念に、「地域の誇り・地域の夢」をテーマとして、歴史・文化をとおして人々と地域のつながりを深め地域の誇りを見つめ直し豊かな地域社会づくりをめざすプロジェクト（物語おこしプロジェクト）を展開しました。

さらに、担い手の育成として、ファシリテーション研修や広報・情報発信研修、マネジメント研修を実施するとともに、専門家派遣や財政的支援等を行いました。

「**美し国おこし・三重**」オープニング  
〔平成21(2009)年〕

「**美し国おこし・三重**」リニューアルスタート  
〔平成24(2012)年〕



## 県民力拡大プロジェクト

「美し国おこし・三重」の最終年である平成26(2014)年には、「美し国おこし・三重」の6年間の取組の成果を県内外にアピールし、地域をよりよくしていこうとする三重の県民力を新たな時代に向かって拡大する県民力拡大プロジェクトを実施します。具体的には、次の3つの取組を展開していきます。

### あんぼく 縁博みえ2014

期間：平成26(2014)年春から半年間程度  
場所：県内各地域

- パートナーグループの活動場所における成果の披露を基本とし、半年間程度、県内各地域での集客・交流イベントを実施します。
- 地域における絆づくりや特色ある地域資源の磨き上げといった「美し国おこし・三重」の取組の成果を生かし、パートナーグループだけではなく、地域づくりグループや事業者・企業・団体などさまざまな主体が企画・実施するプログラムによる集客・交流イベントを展開します。

### 三重県民大縁会

期間：平成26(2014)年秋の数日間  
場所：三重県営サンアリーナ(伊勢市)

- 「美し国おこし・三重」の取組の締めくくりとして実施します。
- 全パートナーグループが一堂に会い、6年間培ってきた成果を発表し、その後の活動の継続についての展望を語り合う場を設けます。
- 県内外からの集客を図るため、集客を見込める分野に注力した出展やさまざまな分野における成果のカンファレンスなどを企画します。

### 会議・シンポジウムなどの誘致

期間：平成26(2014)年秋  
場所：県内各地域

- 地域づくり団体全国研修交流会三重大会(仮称)を誘致し、「美し国おこし・三重」の取組の成果などを生かした地域づくり活動の披露の場づくりを実施します。
- 取組終了後の活動の継続や発展につなげるため、パートナーグループをはじめとする地域づくり関係者の皆さんの交流が深められるよう、他のイベントとの連携を図りながら実施します。

## 2 「地域での美し国おこし」の取組状況

### (1) 「座談会」等の開催

#### ①目的（狙い）

- ア 地域のキーパーソンを顕在化すること
- イ 地域の魅力を再発見し、それを資源とする活動を生み出すこと
- ウ 地域の課題を明らかにし、解決できる活動を生み出すこと
- エ 地域を考える住民の仲間を増やし、活動の輪を広げていくこと
- オ 既存の地域づくりグループの安定や拡大・発展に必要な活動を生み出すこと

○ 座談会開催目標 330回

#### ②内容

「地域づくりに取り組んでいる」、「これから始めようとする」、または「地域をよりよくしたいと思う」住民の皆さんを対象に、地域の課題やビジョンを話し合う場となる座談会、説明会等を市町と調整の上で588回、取組の開始以降1,812回開催しました。



(AROUND 4 座談会)



(熊野川体感塾座談会)

### (2) パートナーグループの登録

#### ①目的（狙い）

パートナーグループとは、「美し国おこし・三重」の取組の趣旨に沿って、住民の皆さんが主体となり自発的に地域をよりよくしていこうとする活動を行うグループで、「美し国おこし・三重」実行委員会に登録されたグループをいいます。特色ある地域の資源を生かしたパートナーグループの活動を活発化することによって、自立・持続可能で元気な地域づくりをめざします。

○ パートナーグループ登録目標 200グループ

#### ②内容

パートナーグループとして、79グループ、取組の開始以降342グループに登録

いただきました。

プロデューサーによる助言等のほか、人材育成のための研修や専門家派遣、財政的支援等を行いました。

### (3) 拡大座談会

#### ①目的 (狙い)

市町単位や実行委員会事務局地域事務所単位などで実施し、グループ間の連携・交流のきっかけづくりや「美し国おこし・三重」の取組をアピールすることを目的としています。

#### ②内容

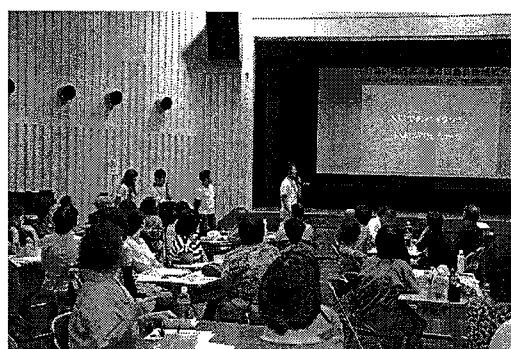
22回開催し、延べ1,234人に参加いただきました。

	名称	実施日	場所	参加者数
1	銚子川流域拡大座談会 (銚子川を日本一の川にしたい!~きいて、みて、みんなで考えよう~)	平成23(2011)年 4月22日(金)	紀北町立海山公民館	67
2	平成23年度第1回桑員地域拡大座談会 (いたみを糧に地域の「新たな未来」の話をしよう!)	4月24日(日)	木曾岬町役場	43
3	平成23年度第2回桑員地域拡大座談会 (いたみを糧に地域の「新たな未来」の話をしよう!VOL.2)	5月22日(日)	桑名市長島ふれあい 学習館(ながしま遊 館)	40
4	四日市地域拡大座談会 (四日市絆づくり交流会)	5月29日(日)	三重県四日市庁舎	58
5	平成23年度第3回桑員地域拡大座談会 (いたみを糧に地域の「新たな未来」の話をしよう!VOL.3)	6月17日(金)	いなべ市北勢市民会 館さくらホール	39
6	「美し国おこし・三重」拡大座談会 in 朝日 (支え合う地域づくり)	6月25日(土)	朝日町保健福祉セン ター	57
7	「美し国おこし・三重」拡大座談会 (連続講座「地域力創造と地域おこしのヒント」の二日目に開催)	8月6日(土)	三重県勤労者福祉会 館	71
8	平成23年度第4回桑員地域拡大座談会 (いたみを糧に地域の「新たな未来」の話をしよう!VOL.4)	8月27日(土)	東員町保健福祉セン ター	86
9	「美し国おこし・三重」拡大座談会 (これからの移動送迎を考えるつどい)	9月11日(日)	三重県伊賀庁舎	66
10	食と農でつながる拡大座談会 in 鈴鹿	9月17日(土)	三重県鈴鹿庁舎	53
11	「美し国おこし・三重」尾鷲市・紀北町拡大座談 会 紀北会場 (地域資源交流会)	10月4日(火)	ゆうがく邸	31
12	「美し国おこし・三重」尾鷲市・紀北町拡大座談 会 尾鷲会場 (地域資源交流会)	10月12日(水)	天満荘	39

13	「美し国おこし・三重」パートナーグループ交流会 美しCafe in四日市 女子会編	12月8日(木)	ワンデイシェフの店 にじいろ堂	23
14	平成23年度第5回桑員地域拡大座談会 (くわなの手づくり体験)	12月24日(土)	桑名メディアライヴ	200
15	「美し国おこし・三重」パートナーグループ交流会 美しCafe in四日市 ランチ会編	平成24(2012)年 2月3日(金)	ワンデイシェフの店 にじいろ堂	20
16	「美し国おこし・三重」川越町拡大座談会 (かわごえがおプロジェクト)	2月23日(木)	川越町いきいきセン ター	43
17	平成23年度第6回桑員地域拡大座談会	3月4日(日)	ながしま遊館	50
18	地域づくり交流会・いが	3月18日(日)	青山ハーモニー・フォ レスト	34
19	熊野地域拡大座談会(紀宝町) (東紀州防災ネットワーク推進会議 市民座談会 in 紀宝町)	3月18日(日)	紀宝町福祉センター	39
20	熊野地域拡大座談会(御浜町) (東紀州防災ネットワーク推進会議 市民座談会 in 御浜町)	3月18日(日)	御浜町福祉健康セン ター	44
21	歴史×文化×物語 拡大座談会 in 亀山	3月20日(祝)	亀山市総合保健福祉 センター(あいあい)	66
22	熊野地域拡大座談会(熊野市) (東紀州防災ネットワーク推進会議 市民座談会 in 熊野市)	3月25日(日)	三重県熊野庁舎	65



(銚子川流域拡大座談会)



(第4回桑員地域拡大座談会)

#### (4)「地域での美し国おこし」の取組成果など

##### ①取組の成果など

- ・「美し国おこし・三重」の取組の基本となる座談会や説明会等を、市町と調整の上で、県内全域で開催しました。
- ・地域での座談会や拡大座談会等の開催により、地域のキーパーソンの顕在化と併せて、特色ある地域資源を生かして地域をよりよくしていこうとするグループの

ネットワークやグループ活動の輪が広がり、また、グループの課題解決のきっかけづくりにつながりました。

- ・パートナーグループ登録数は目標を下回ったものの、座談会の開催数は目標を上回り、住民の皆さんの地域づくりに取り組む気運、意欲の向上につながったと考えています。

## ②今後の方針

より多くの皆さんにこの取組を知っていただき、また、参加・参画いただくために、市町と共に、各種座談会の開催に努め、地域の課題やビジョンを話し合い、特色ある地域資源の発掘・活用についての対話を進めていきます。また、一部登録手続きの簡素化を図るなどにより、パートナーグループの登録が進むよう努めていきます。

## 3 「テーマに基づき全県的に取り組む美し国おこし」の取組状況

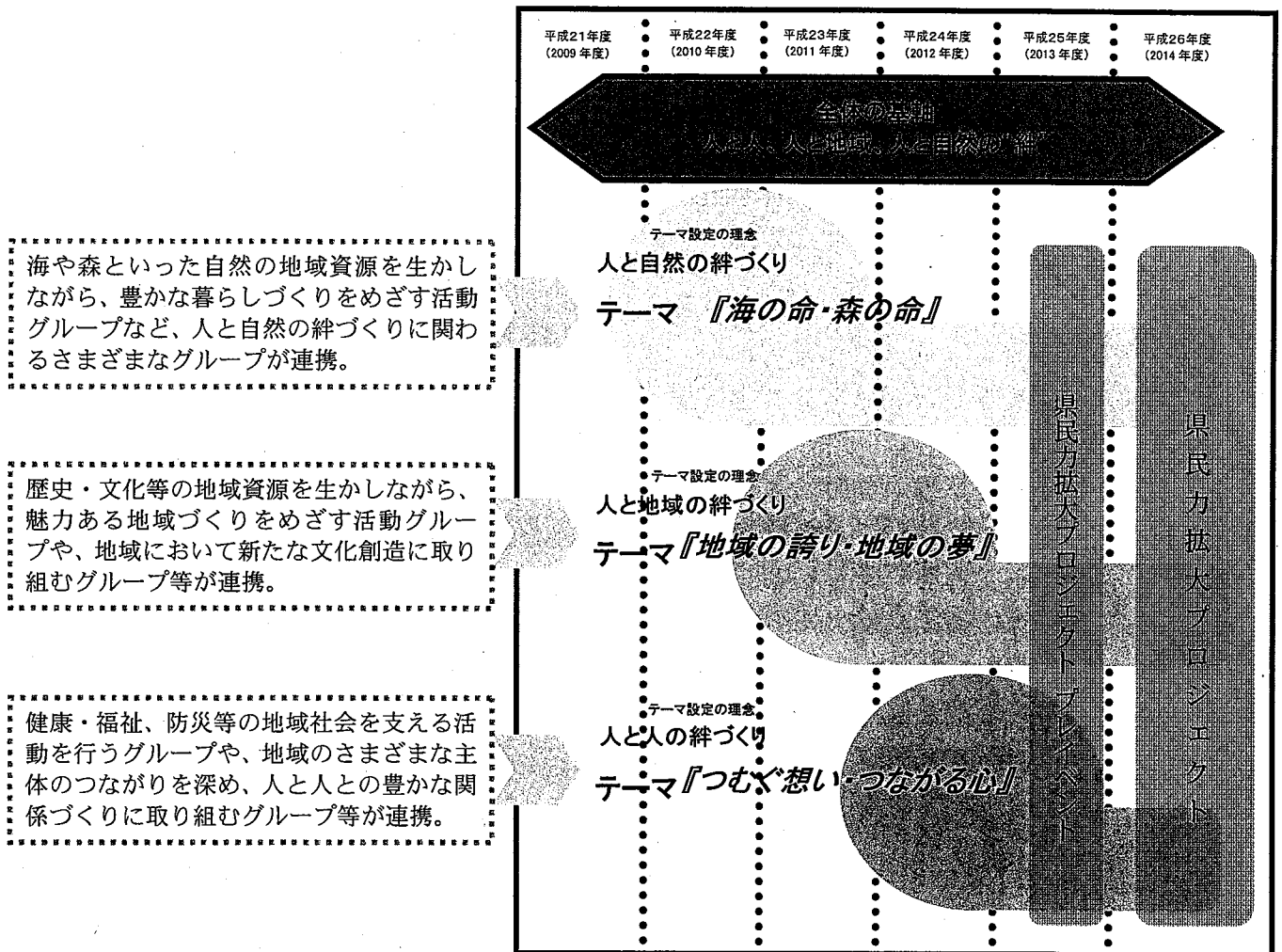
### (1) 目的（狙い）

県内各地域でパートナーグループが取り組んでいる活動を、平成 22（2010）年度から平成 26（2014）年度の 5 年間をかけて、共通する分野（テーマ）ごとに連携し、全県的・広域的に進めていきます。

この取組により、さまざまな主体との協働の担い手であるパートナーグループの活動を全県的・広域的に分野（テーマ）ごとにネットワーク化し、情報発信することで、それぞれの活動や地域の魅力の発見、地域経済の活性化、地域の担い手づくり、多様な誘客・交流の創出等を加速させ、「美し国 三重」をさらに元気にしていきます。

取組にあたっては、「美し国おこし・三重」基本構想の基本理念に掲げる「人と人、人と地域、人と自然の“絆”」を 5 年間の基軸に据えて、次の 3 つの理念によりテーマ設定をしています。

平成 22（2010）年度～平成 23（2011）年度は「人と自然の絆づくり」、平成 23（2011）年度～平成 24（2012）年度は「人と地域の絆づくり」、平成 24（2012）年度～平成 25（2013）年度は「人と人の絆づくり」を理念に、それぞれにテーマを設定して 2 年ずつ展開し、活動を磨き上げ、平成 26（2014）年の県民力拡大プロジェクトへとつなげていきます。



海や森といった自然の地域資源を生かしながら、豊かな暮らしづくりをめざす活動グループなど、人と自然の絆づくりに関わるさまざまなグループが連携。

歴史・文化等の地域資源を生かしながら、魅力ある地域づくりをめざす活動グループや、地域において新たな文化創造に取り組むグループ等が連携。

健康・福祉、防災等の地域社会を支える活動を行うグループや、地域のさまざまな主体のつながりを深め、人と人との豊かな関係づくりに取り組むグループ等が連携。

## (2) 内容

平成 23 (2011) 年度は、昨年度に引き続き 2 年目となる「人と自然の絆づくり」を理念とした「海の命・森の命」のテーマと、平成 23 (2011) 年度から新たに取り組んだ「人と地域の絆づくり」を理念とした「地域の誇り・地域の夢」のテーマにより、次のテーマプロジェクトに取り組みました。

また、アサヒビール(株)様からの寄付金を活用して、平成 23 (2011) 年度に実施したテーマプロジェクトをPRするパンフレットを作成しました。

### ① テーマ「海の命・森の命」

#### ○ソーシャルレジャーで三重の自然を守ろうプロジェクト

社会貢献活動に誰もが楽しめるレジャー活動を組み合わせた新しいボランティアの形である「ソーシャルレジャー」の考え方を広め、全県的に展開するため、新たなグループなどに幅広く参加・参画を呼びかけるとともに、企画・実施主体を公募し、24 事業を県内各地で実施しました。



(ソーシャルレジャーの様子①)



(ソーシャルレジャーの様子②)

## ○チャレンジキャンププロジェクト

### &ココロとカラダの健康ツーリズムプロジェクト

自然豊かな県南部を中心に、自分で目標を設定し課題を乗り越える力など、人として欠くことのできない生きる力を身につけ、人間力を高める体感プログラムである「チャレンジキャンプ」と、三重の自然のもつ、癒し・健康・精神性等の新たな魅力を発掘・発見する「ココロとカラダの健康ツーリズム」を広めていくため、それぞれ3つのモニターツアーの企画・実施主体を公募し、合計6事業を県内各地で実施しました。



(チャレンジキャンプ)



(ココロとカラダの健康ツーリズム)

## ② テーマ「地域の誇り・地域の夢」

地域にまつわる歴史や逸話・謂われ等の「物語」を切り口に地域資源の付加価値を高める「物語おこしプロジェクト」として、企画・実施主体を公募し、5事業を県内各地で実施しました。



(物語おこしプロジェクト①)



(物語おこしプロジェクト②)



### (3) 取組の成果など

- ・テーマプロジェクトに取り組むことで、パートナーグループ活動の活発化や連携、新たなプロジェクトへのきっかけづくりなど、「美し国おこし・三重」の取組が広がりました。
- ・平成 24 (2012) 年度～平成 25 (2013) 年度に取り組む、「人と人の絆づくり」を理念とする具体的なテーマを、「つむぐ想い・つながる心」としました。

### (4) 今後の方針

- ・2年目となるテーマ「地域の誇り・地域の夢」については、「物語おこしプロジェクト」において、企画・実施主体を公募し実施するとともに、パートナーグループの参加イベントを募るなど、活動の自立・持続のしくみづくりにつなげていきます。
- ・平成 24 (2012) 年度～平成 25 (2013) 年度のテーマ「つむぐ想い・つながる心」については、「人と人の絆づくり実践プロジェクト」において2つのコアイベントを実施します。また、「人と人の絆の場づくりプロジェクト」において、企画・実施主体を公募し実施するとともに、パートナーグループの参加イベントを募るなど、活動の自立・持続のしくみづくりにつなげていきます。
- ・これらのテーマプロジェクトについて、フォトコンテストなどさまざまな手法により情報発信していきます。
- ・今後、平成 26 (2014) 年に実施する県民力拡大プロジェクトに向けて、情報発信力を高め全県の・広域的に展開していきます。

## 4 地域づくりの担い手の育成と支援の取組状況

### (1) 研修【(地域づくりのリーダー)の育成】

#### ①目的 (狙い)

地域づくりをとおして多様な主体との協働の担い手となる人材の育成を目的として研修を実施します。

- ファシリテーション研修 3会場 (各4日間)
- 広報・情報発信研修 3会場 (各3日間)
- マネジメント研修 2会場 (各1日)

#### ②内容

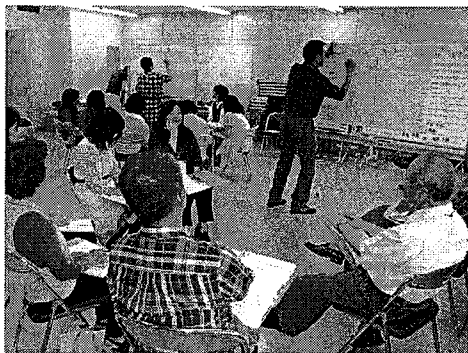
##### 【ファシリテーション研修】

「メンバー同士の気持ちや意見の方向性をまとめたい」、「地域づくりをサポートしたい」という皆さんを対象に、桑名、尾鷲、伊賀の3会場でそれぞれ4日間の研修を実施し、合計39人の参加をいただきました。

	主な内容	桑名会場 県桑名庁舎	尾鷲会場 県尾鷲庁舎	伊賀会場 県伊賀庁舎
Step 1	★ファシリテーションの基本 (2日連続研修) ・〈聴く力〉の養成 ・場を和ませる技法 ・ファシリテーション演習 ・プロセスデザイン ほか	6月18日(土) 〈10時~17時〉 6月19日(日) 〈10時~17時〉 受講者実績: 19人	8月27日(土) 〈10時~17時〉 8月28日(日) 〈10時~17時〉 受講者実績: 14人	9月24日(土) 〈10時~17時〉 9月25日(日) 〈10時~17時〉 受講者実績: 7人
Step 2	★ファシリテーションの実践 ・「美し国おこし・三重」の座談会等 での実地研修 (コーディネーターが情報提供&ア ドバイスでサポート)	6月下旬~ 8月上旬 (各受講者1回 以上実地を体験) 受講者実績: 18人	9月上旬~ 10月中旬 (各受講者1回 以上実地を体験) 受講者実績: 13人	10月中旬~ 11月下旬 (各受講者1回 以上実地を体験) 受講者実績: 2人
Step 3	★自分らしいファシリテーションと は? (1日研修) ・ステップ2のふりかえり (実践での課題と将来の展望を共有) ・ファシリテーション全般についての 課題検討 ・目標とするファシリテーター像	8月21日(日) 〈10時~17時〉 場所:県桑名庁舎 受講者実績: 13人	10月30日(日) 〈10時~17時〉 場所:県立尾鷲 高等学校 受講者実績: 9人	11月27日(日) 〈10時~17時〉 場所:県伊賀庁舎 受講者実績: 8人

※ 平成 21 (2009) 年度および 22 (2010) 年度の本研修受講者で、今回アシスタントとして各会場で協力いただいた方

3人	2人	2人
----	----	----



(桑名会場：ファシリテーション研修)



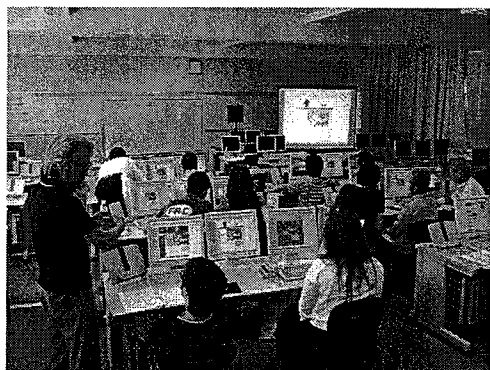
(尾鷲会場：ファシリテーション研修)

### 【広報・情報発信研修】

「グループの活動をもっとアピールしたい」、「上手に宣伝して販売や誘客を伸ばしたい」という皆さんを対象に、鈴鹿、松阪、熊野の3会場でそれぞれ3日間の研修を実施し、合計30人の参加をいただきました。

	主な内容	鈴鹿会場 白子高校	松阪会場 松阪商業高校	熊野会場 尾鷲高校
1 日 目	「地域づくりに必要な広報とは？」 ・広報の必要性について学ぶ ・ブランディングの手法について ・プレスリリース作成 ほか	7月2日(土) 〈10時~17時〉 受講者実績: 11人	7月17日(日) 〈10時~17時〉 受講者実績: 12人	10月9日(日) 〈10時~17時〉 受講者実績: 3人

2 日 目	「インターネットやチラシを用いた効果的な広報・情報発信とはどんなもの？」 ・インターネット、チラシの特性を学ぶ ・ホームページ・ブログ作成など ・効果的なチラシ作成 ほか	7月3日(日) <10時~17時> 受講者実績： 9人	7月24日(日) <10時~17時> 受講者実績： 12人	10月10日 (月・祝) <10時~17時> 受講者実績： 6人
3 日 目	「ビデオカメラを使った映像作りに挑戦！」 ・映像制作の基本を学ぶ ・ナレーションの原稿作成 ・編集作業を体験 ・まとめ、振り返り ほか	7月10日(日) <10時~17時> 受講者実績： 7人	7月31日(日) <10時~17時> 受講者実績： 9人	10月22日(土) <10時~17時> 受講者実績： 4人



(鈴鹿会場：広報・情報発信研修)

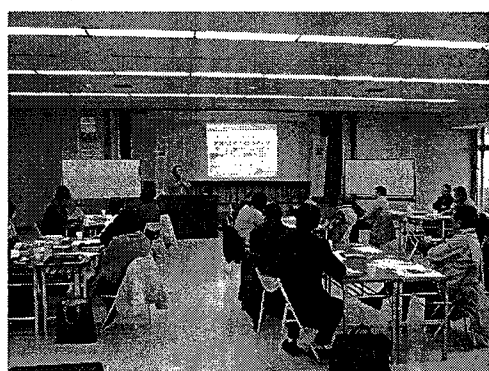


(松阪会場：広報・情報発信研修)

### 【マネジメント研修】

「グループを安定的に運営したい」、「活動資金を安定的に確保したい」、「ステップアップにつながる投資資金を調達したい」という皆さんを対象に、四日市、松阪の2会場で開催した研修を実施し、合計55人の参加をいただきました。

主な内容	松阪会場 県松阪庁舎	四日市会場 県四日市庁舎
「地域のために好きなことをずっと続けていくための資金のこと、組織のこと」 ・資金調達で困っていること ・お金の出し手は何を期待するか？ ・グループワーク、DVD鑑賞 ほか	2月6日(月) <13時~17時> 受講者実績：23人	2月16日(木) <13時~17時> 受講者実績：32人



(松阪会場：マネジメント研修)



(四日市会場：マネジメント研修)

### ③取組の成果など

- ・受講者のアンケートでは、ファシリテーション研修の評価は 100 点満点中 87.1 点、広報・情報発信研修の評価は 100 点満点中 95.7 点と高い評価をいただきました。
- ・また、マネジメント研修では、95.3%の参加者から満足またはどちらかという満足との高い評価をいただきました。
- ・なお、一部の受講者には、拡大座談会や成果発表・交流会等に、研修等で身につけた技術を生かして「美し国おこし・三重」の取組のサポート役として参加いただきました。
- ・今後、より参加者を増していくため、広く周知に努めていく必要があります。

### ④今後の方針

- ・平成 24 (2012) 年度は、マネジメント研修を県内 3 会場で実施します。  
(鈴鹿、伊賀、尾鷲地域を予定)
- ・平成 25 (2013) 年度は、パートナーグループの活動を活性化するため、市民プロデューサー養成研修を予定しています。

## (2) 専門家派遣

### ①目的 (狙い)

パートナーグループの活動を活性化し、課題の解決を支援するために、それぞれの案件にふさわしい専門家を派遣します。

### ②内容

パートナーグループの要請に基づき、プロデューサーと協議の上で、専門家派遣を 18 件延べ 45 回 (日) 実施しました。

派遣日	派遣を受けた パートナーグループ名	アドバイス内容
平成 23(2011)年 4月 13 日、5月 17 日	美し国ツアーズ	効果的なPRチラシの作成
4月 16 日・17 日	「竹の都・明和」農業生産研究会	イベントの企画・運営
4月 22 日	高齢者と障がい者の暮らしと住まいの研究会	PR 映像の撮影方法
5月 2 日・25 日、6月 8 日、9月 30 日、10月 20 日、1月 18 日	体にやさしいマクロビオティックのお勝手口	インターネットによる効果的なPR
6月 25 日、7月 28 日、8月 30 日	車椅子レクダンス普及会亀山支部	全国大会の企画・運営
7月 5 日・12 日・26 日、8月 4 日	特定非営利活動法人ア・ピース・オブ・コスモス	インターネットによる効果的なPR

7月9日・16日、8月2日	NPO法人 海虹路	尾鷲ひのきを使った作品づくり
7月10日、11月20日、12月11日、1月22日	太陽と風の道づくり in 太郎生	湿原の再生方法と維持管理
7月21日、8月18日、10月28日、11月17日、2月20日	ささらくらぶ	商品のマーケティング戦略
9月13日	伊賀・島ヶ原おかみさんの会「夢の道」グループ	野草・薬草の新たな料理方法
9月18日	太陽と風の道づくり in 太郎生	レイラインを活用した地域づくり
10月25日	NPO 福祉ネット どんぐり	さまざまなツールを利用したPR
10月30日	繋がる学校	プロアクションカフェの運営手法
11月3日	度会町の植物を守る会	樹木に関する知識の習得
平成24(2012)年 1月22日、3月11日	田丸嬢	曲に合わせた振付けと情報発信
2月2日・20日、3月5日	GJBN meeting	ファシリテーションの技術の習得
2月8日・22日、3月13日	水恋鳥	イラストマップの作成・情報整理
2月18日・19日	喜心	白みそに関するノウハウ



(専門家派遣：ささらくらぶ)



(専門家派遣：太陽と風の道づくり in 太郎生)

### ③取組の成果など

必要とされる専門家を派遣することで、パートナーグループの活動が充実したものになりました。

### ④今後の方針

パートナーグループが活動を継続していく上でも、県内の専門家で対応できるものは、極力県内の専門家を派遣するとともに、この制度の活用を一層進めます。

### (3) 広報・誘客支援

「5 情報発信の取組状況」で再掲説明

### (4) ネットワーク化支援

#### ①「美し国おこし・三重」サポーターズクラブ

##### ア 目的 (狙い)

パートナーグループ活動の協働や連携を推進するとともに、地域や社会への貢献活動に関心のある企業や地域との連携を進める大学、団塊の世代等と、地域づくりの担い手やサポーターのネットワークづくりを進めます。

##### イ 内容

ホームページやチラシ等により、「美し国おこし・三重」の取組の趣旨に賛同し、本取組のPRや実際の活動を応援していただける県内外の個人、団体、企業を対象に、「美し国おこし・三重」サポーターズクラブへの参加を呼びかけており、平成23(2011)年度はグループ・団体20件、個人26人の登録をいただき、開設以降総計でグループ・団体69件、個人150人となりました。

##### ウ 取組の成果など

「成果発表・交流会」に、スタッフとして運営に協力していただきました。

##### エ 今後の方針

引き続き、サポーターの登録を進めるとともに、実行委員会が主催する事業以外においても、サポーターの希望(取り組みたいこと、手伝えること)とパートナーグループなどが求める支援とのマッチングがさらに図れるように、PRの仕組みなどを検討していきます。

#### ②成果発表・交流会

##### ア 目的 (狙い)

全てのパートナーグループを対象にこれまでの取組をお互いに発表し合い、次年度に向けた活動の抱負を語り合う場を作ります。また、パートナーグループ以外で、地域おこしを実践している、または、これから実践しようとする皆さんにもご参加いただき、交流を深めます。

県内全域にわたってパートナーグループ間相互の連携を促進するとともに、本取組の県内外に向けた情報発信の機会とします。

##### イ 内容

	名称	実施日	場所	参加者数
1	平成23年度成果発表・交流会	平成24(2012)年 3月3日(土)	津市 メッセウイング・みえ	約2,400 人

### 〈開催概要〉

- ・パートナーグループによる舞台発表
- ・三重のキャラクターショー
- ・宮川フォーラム 2012
- ・小椋久美子トークショー
- ・トークセッション～食をテーマに語り合う～
- ・ブース出展
- ・ツリークライミング
- ・テーマに基づく交流会

### ウ 取組の成果など

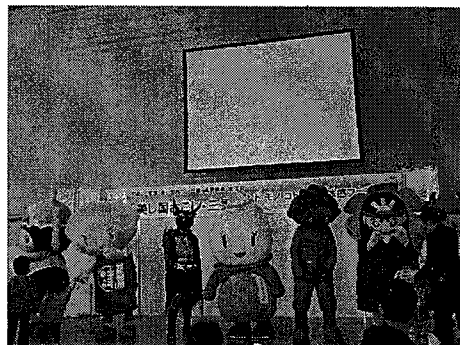
多くの皆さんにご参加いただき、活動分野、地域、世代を越えた交流を図ることができました。

### エ 今後の方針

引き続き毎年1回、これまでの取組の成果発表・交流会を実施していきます。



(トークセッション)



(三重のキャラクターショー)

## (5) 財政的支援

### ①目的 (狙い)

パートナーグループの活動の自立・持続性を高めるため、地域に貢献しながら安定した活動を維持できる活動の初期投資の経費に対して支援します。

### ②内容

プロジェクトを企画し、認定を受けたパートナーグループに対し、市町の考え方に沿って、初期投資に係る経費を1回に限り市町と共に支援しました。平成23(2011)年度は6件の支援を行いました。

(単位:円)

	事業名	パートナー グループ名	市町名	実行委員 会補助額 (市町負担 分含む)	左欄のうち 市町負担額
1	ひとのわコンサート	「ひとのわコンサ ート」実行委員会	亀山市	577,100	288,550

## &lt;事業概要&gt;

デジタルピアノやスピーカー、発電機等を購入し、各地に出張演奏できる体制の整備を行い、自然環境や寺社仏閣を活用した音楽コンサートを開催します。このことで、地域の新たな魅力を創造・発信するとともに、老若男女問わず地域や分野を越えた交流を進めていきます。

2	下滝野いきいきプロジェクト	喜心	松阪市	1,040,000	400,000
---	---------------	----	-----	-----------	---------

## &lt;事業概要&gt;

加工所を改修整備し、真空パック機を購入することで、タケノコ等を使った商品の魅力高め生産量を増やすことができます。このことで、里山の環境保全をはじめ、地域の方々の働く場を拡充するとともに、加工所を集いの場として人と人との絆を深め、地域の活性化につなげます。

3	参宮ブランド『擬革紙』復 興・振興プロジェクト	参宮ブランド『擬革 紙』の会	玉城町	1,000,000	500,000
---	----------------------------	-------------------	-----	-----------	---------

## &lt;事業概要&gt;

試作品を製作するための機具を購入し、将来的に商品化をめざすための準備を行います。このことで、擬革紙を地域の文化・技術のシンボルとして復興させることにより、地域産業の活性化、新しい特産品づくりとブランド化を進め、地域経済に寄与していきます。

4	ぽっかぽかの会 就労支援プロジェクト	ぽっかぽかの会	亀山市	990,110	495,055
---	-----------------------	---------	-----	---------	---------

## &lt;事業概要&gt;

冷凍冷蔵庫や電子式シーラー等を購入し、地元亀山茶を使用した「かめっこクッキー」等の生産性を向上させ、販売量の拡大を図ります。このことで、作業の簡略化により障がい者のレベルにあわせた就労機会の創出・拡大を図るとともに、地域の新たな魅力を創造・発信していきます。

5	白山道しるべの会ガイド拡 充実践グレードアップ事業	白山道しるべの会	津市	566,530	283,265
---	------------------------------	----------	----	---------	---------

## &lt;事業概要&gt;

ホームページを開設し、白山地域を中心に津市全域のPRを行うとともに、案内ガイドの申込依頼を簡易化することにより、情報発信と活動機会の拡充につなげていき、地域の活性化に貢献します。



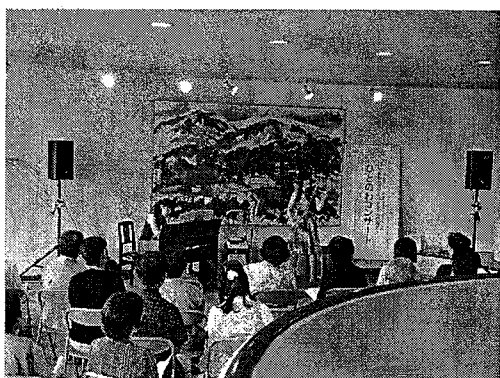
	事業名	パートナーグループ名	市町名	実行委員会補助額	市町負担額
6	紀北地域のソウルフードを継承するくき漬け大作戦	NPO 法人 ふるさと企画舎	紀北町	176,022	117,348

<事業概要>

真空包装器等を購入することで販売期間を拡充することが可能となり、通信販売や地元飲食店との連携など、新しい形での販路拡大を進めることができます。このことで、くき漬けの本格的な販売開始に向けて広域的かつ持続的に展開し、自立・持続可能な地域づくりにつなげます。

※1～5の市町においては、負担金方式を採用しているため、実行委員会が市町の支援金と合わせて、パートナーグループに直接補助します。

※2、6の事業実施地域は、過疎地域等に該当しますので、実行委員会の負担割合が大きくなっています。



(財政的支援：「ひとのわコンサート」  
実行委員会)



(財政的支援：参宮ブランド『擬革紙』の会)

③取組の成果など

パートナーグループの活動を充実、継続していくための必要な支援を、市町と共に行うことができました。

④今後の方針

パートナーグループの活動の自立・持続につなげていくため、引き続き、パートナーグループ、実行委員会、市町、プロデューサーが協議しながら、企画を検討し、必要な支援を行っていきます。

5 情報発信の取組状況

(1) 目的 (狙い)

県民の皆さんに「美し国おこし・三重」のめざすところや、取組全体を理解いただくため、パートナーグループの活動の紹介などをおして、情報発信を行います。

## (2) 内容

下記の取組をとおして、取組全体の認知・理解促進を図るとともに、「地域での美しく国おこし」の取組（個々のパートナーグループの活動）の認知促進に焦点をあてた情報発信や、地域ごと、マスコミ媒体ごとの特性に応じて、情報提供や取材依頼を行いました。

また、テレビ、ラジオ、新聞での広報等を行うほか、マスコットキャラクターや広報グッズを活用して県内外のイベント等において取組のPRを行いました。

### ①機関紙の発行（「美しく国おこし・三重」だより）

「美しく国おこし・三重」の取組の周知を図り、その関心を高めるため、テーマプロジェクトやサポートメニュー、拡大座談会などの「美しく国おこし・三重」の取組等の情報を掲載しています。第9号および第10号の計2回発行し、県民の皆さんや市町、地域づくり関係者等に配布しました。

・第9号、第10号…各20,000部

### ②マスコットキャラクターの活用

実行委員会で作成するパンフレットやチラシ、駅等への広告看板、電車やバスへの交通広告、名刺台紙などの広報ツール、啓発グッズにおいて、マスコットキャラクターを活用しました。

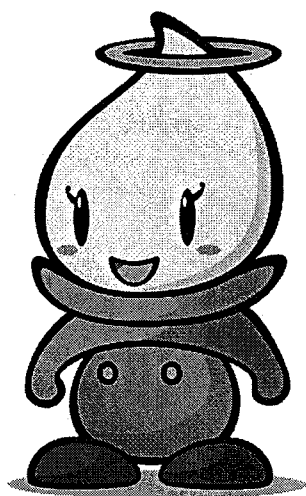
また、各部局等が作成する印刷物などにおいても、マスコットキャラクターの活用を依頼し、取組の周知を行いました。

さらに、県民の皆さんに本取組に親しみを持ってもらい参加・参画していただけるように、マスコットキャラクターの着ぐるみを作成し、各種イベントや県庁見学において使用するとともに、本取組の一層の周知を図るため、県民の皆さんに着ぐるみを貸し出しするなど、着ぐるみの活用も行いました。

平成23（2011）年度 マスコットキャラクター着ぐるみ使用実績

天下一・武道会 2011
第62回みえ県展東員町移動展(東員町教育委員会社会教育課)
農水商工部地産地消キャンペーン
四日市港まつり
御浜町、社会福祉協議会のイベント
ごんべえ桜(河津桜)下草刈り(ソーシャルレジャープロジェクト)
県庁での小林可夢偉の出迎え
みえ農商工連携フェア
ケーブルテレビ出演(鳥羽公募座談会 PR)
地域ブランドサミット
三重大学祭
せいえい三重フェスティバル(三重県総合文化センター)
「きゃら在月」inしまね
ごんべえ桜(河津桜)の植樹(ソーシャルレジャープロジェクト)
ケーブルテレビ出演(紀北町)
第5回「美しく国おこし・三重」桑員地域拡大座談会
紀伊ながしま港市

県庁見学
YNNまつり
第6回「子育て応援！わくわくフェスタ」
尾鷲グルメ大会
雛街道(観光・交流室)
三重大学アカデミック・フェア
第5回美し国三重市町対抗駅伝
紀宝町 社会福祉協議会まつり(三重ローカルアクト)
物語おこしプロジェクト(「丹敷戸畔(にしきとべ)の謎」解明プロジェクト)
「美し国おこし・三重」成果発表・交流会
第6回「美し国おこし・三重」桑員地域拡大座談会
尾鷲 ひのきのアカリ to コカリナコンサート



う~まちゃん (※愛称は平成22(2010)年7月23日発表)

### ③「美し国おこし・三重」からのお知らせ「あむあむ」の作成

県内各地のパートナーグループの活動や、「美し国おこし・三重」の取組内容をわかりやすく紹介し、地域づくり関係者や関心のある方に、本取組を周知し、参加・参画を促進するための「美し国おこし・三重」からのお知らせ「あむあむ」を発行し、配布しました。

・第13号～第18号…各15,000部

### ④生活情報誌等への広告記事の掲載、冊子の作成

「美し国おこし・三重」の取組を県内外の皆さんに情報発信し、取組をより多くの皆さんに知っていただき、参加・参画いただくためのきっかけづくりとなるよう小冊子を作成するとともに、小冊子を生活情報誌に綴じ込む形で、三重県内の主要都市部(桑名市、四日市市、鈴鹿市、津市、松阪市、伊勢市、伊賀市、名張市)の中心地域各戸(約442,000世帯)等に2回配布をしました。

また、「美し国おこし・三重」の取組を具体的に知っていただき、参加・参画いただくため、新聞に広告記事を掲載するなどにより、「美し国おこし・三重」の取組の情報発信を県内全域に行いました。

### ⑤啓発グッズの作成

「美し国おこし・三重」の取組を県民の皆さんや市町、地域づくり関係者の皆さんに周知し、取組への関心を高め、参加・参画を促進するため、手提げ袋、ポケットティッシュ、ボールペン、シャーペン、蛍光ペン、鉛筆、根付け、定規、シール、エコ箸、ピンバッチ、クリアフォルダなどの啓発グッズを作成し配布しました。

特に、ポケットティッシュについては、県関係部局が実施する事業と連携し、東京、大阪、名古屋のほか県内鉄道7駅において配布を行い、参加・参画を促す啓発に努めました。

### ⑥ホームページの拡充

個々のパートナーグループのイベントや拡大座談会、テーマプロジェクト等、その時々取組情報や機関紙などの刊行物の掲載を行いました。

### ⑦その他の広報

- ・県政だよりに毎回「美し国おこし・三重」のページを設け、県民の皆さんにお知らせしました。
- ・毎週金曜日に県の取組を紹介している三重テレビ「輝け！三重人～きらめく美し国～」において、毎月第4週に「美し国おこし・三重」の取組を放映しました。
- ・「輝け！三重人～きらめく美し国～」の放送内容を再編集するとともに、新たなテーマプロジェクトを紹介する番組を制作し、三重テレビとケーブルテレビ各局で放映しました。
- ・ラジオでは、「拡大座談会」や「テーマプロジェクト参加者募集」などのお知らせを行いました。
- ・取組に参加・参画していただくためのきっかけづくり、話題づくりとするため、近畿日本鉄道（株）の電車車両1両にマスコットキャラクターのデザインをラッピングした電車を運行するとともに、近畿日本鉄道（株）の3駅と三重交通（株）の県内8営業所の路線バス100台に広告看板を掲出しました。
- ・近畿日本鉄道（株）と伊勢鉄道（株）の時刻表に広告を掲載しました。
- ・CBCテレビのポータルサイトにイベント情報を掲載しました。

### (3) 取組の成果など

- ・パートナーグループへのアンケートでは、本取組を知ったきっかけとして、「県・市町の広報紙」が14.0%、「実行委員会広報紙」が10.0%となっています。
- ・同アンケートでは、「美し国おこし・三重」の広報支援については、82.5%のパートナーグループから、「満足」、「概ね満足」との回答をいただいています。
- ・一方で、本取組がまだ十分知られていない状況にもあります。



## 【個別の取組指標の目標値およびその結果】

### ①自発的な地域づくりのグループの発掘、育成

平成 23 (2011) 年度	目標 200 グループ [実績 79 グループ]
平成 26 (2014) 年度	目標 1,000 グループ (累計) [平成 23 (2011) 年度まで 342 グループ (累計)]

②自立性・持続性を高めるしくみづくり	目標 3 件 [実績 7 件]
--------------------	--------------------

### ③新たなイベントスタイルによる地域力の結集と成果の情報発信

#### ア ネットワーク構築数

平成 23 (2011) 年度	目標 320 グループ [実績 112 グループ]
平成 26 (2014) 年度	目標 3,000 グループ (累計) [平成 23 (2011) 年度まで 388 グループ (累計)]

#### イ 地域活動参加率

(「一万人アンケート」による「地域の活動などに参加している住民の割合」)

目標 21%
[実績 25.8%]

※ 平成 23 (2011) 年度実績は、三重県が実施する「みえ県民意識調査」による「ご近所付き合いや、地域での活動(自治会、青年団、子供会など)」をしている割合

### ④その他の個別の取組指標と目標の設定

座談会開催数	目標 330 回 [実績 588 回]
--------	------------------------

## 7 協力・協賛の状況

### (1) 目的(狙い)

「美し国おこし・三重」はさまざまな主体が協働して推進していく取組であることから、さまざまな形での協賛や協力を呼びかけていきます。

### (2) 内容

- ・21の企業や団体等に、パンフレットやチラシ、名刺等に、シンボルマークやマスコットキャラクター「う～まちゃん」を活用した取組の広報を行っていただきました。
- ・企業や団体等から広く協賛を募集するにあたり、「『美し国おこし・三重』協賛取扱要領」等により、協賛・協力を進めました。

- ・県が包括協定を結ぶ(株)イオンリテールと連携し、紀北町銚子川沿いでごんべえ桜(河津桜)の植樹等と地元食材の料理、熊野古道馬越峠ウォーキングを組み合わせたソーシャルレジャーを実施しました。
- ・「美し国おこし・三重」実行委員会が主催した「成果発表・交流会」に、サポーターズクラブに登録いただいた皆さんがスタッフとして参加いただきました。

### (3) 取組の成果など

- ・シンボルマークやマスコットキャラクターを使った広報での協力は、徐々に増えてきました。本取組の認知度が上がれば、さらに広がると考えます。
- ・「美し国おこし・三重」の取組の趣旨に賛同いただいたアサヒビール(株)様より金銭的な協賛をいただき、テーマプロジェクトパンフレットを作成しました。
- ・一方で、広報以外の協力・協賛を増やしていくことが課題です。

### (4) 今後の方針

今後は、企業のCSR(企業の社会的責任)活動と結びいた協力・協賛のしくみの中で、広報での協力に加え、寄付金等での協力もいただけるよう取組を進めます。さらに、「美し国おこし・三重」テーマプロジェクトにおいて企業のCSR活動との連携を図るとともに、県が包括協定を結ぶ企業と連携した取組の具体化をめざします。

## 8 県庁内連携、市町連携の状況

### 【県庁内連携】

#### (1) 「美し国おこし・三重」推進本部員会議

##### ①目的(狙い)

「美し国おこし・三重」推進本部員会議は、「美し国おこし・三重」の取組を推進するにあたり、各部局等が連携・協力し、一体となって取り組む必要があるため、副知事を正副本部長に各部長・理事等を構成員として、平成19(2007)年11月に設置したものです。

##### ②内容

平成23(2011)年度は3回開催し、取組状況や各部局との連携および取組の推進、テーマプロジェクト、基本計画の改定、県民力拡大プロジェクト実施計画、実行委員会提出資料などについて、説明・協議を行いました。

#### (2) 「美し国おこし・三重」推進本部幹事会

##### ①目的(狙い)

各部局等の総務室長等を構成員とし、取組の具体的な検討などを行うために平成

20（2008）年2月に設置したものです。

## ②内容

平成23（2011）年度は7回開催し、取組状況や各部局等との連携事業、テーマプロジェクトの進め方、基本計画の改定、県民力拡大プロジェクト実施計画などについて、説明・協議を行いました。

## （3）「美し国おこし・三重」地域支援本部会議

### ①目的（狙い）

県内全域で展開する「美し国おこし・三重」における地域での取組を円滑に進めるために、県民センター所長を本部長に関係地域機関長を構成員として、平成21（2009）年1月から3月にかけて、各県民センターに設置したものです。

### ②内容

平成23（2011）年度は延べ54回開催し、座談会の開催やパートナーグループの登録状況、各事務所間連携の検討、基本計画の改定、県民力拡大プロジェクト実施計画等について、説明・協議を行いました。

## （4）県庁内連携の取組成果など

### ①取組の成果など

- ・本取組の現状や実施計画の説明・協議を行うことで、各部局間、各地域事務所間で共通認識をもつことができました。
- ・地域支援本部員会議では、実行委員会事務局地域事務所と関連する地域機関との連携を図ることができました。

### ②今後の方針

推進本部員会議・推進本部幹事会において、県民力拡大プロジェクトに向け、各部局等との連携を一層推進していきます。

## 【市町連携】

### （1）市町訪問

#### ①目的（狙い）

理事や地域事務所職員が市町を訪問し、意見交換を行うことで、連携を深めていきます。

#### ②内容

「美し国おこし・三重」担当理事が、春（4～6月）と秋（10～12月）に、全市町の首長、幹部職員を訪ね、意見交換を行いました。



また、日々の業務の中で、地域事務所職員が市町職員と意見交換を行い、連携を深めています。

## (2) 「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」等での報告

### ①目的（狙い）

市町の首長や市町の幹部職員が会する機会をとらえ、取組への理解や現状報告を行います。

### ②内容

町村会や市長会での説明や「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」等で状況報告等を行い、情報の共有化を図りました。

## (3) 市町連携の取組成果など

### ①取組の成果など

市町の首長から担当者まで、広く取組の理解を求めた結果、全市町で座談会が開催されるなど、連携して取り組むことができました。

### ②今後の方針

地域事務所職員を中心に、引き続き、よりよい取組にしていくための意見交換を進めていきます。

## 9 評価委員会意見

評価委員会は、「美し国おこし・三重」実行委員会が行う取組について、第三者の視点から中立的な検証・評価を行うために設置したものです。

平成 24 (2012) 年 2 月 27 日 (月) に第 6 回会議、6 月 4 日 (月) に第 7 回会議を開催し、平成 23 (2011) 年度の取組に関していただいた評価委員長報告および意見、それに対する考え方は、次のとおりです。

### (1) 平成 24 (2012) 年 3 月 13 日付け、評価委員会評価委員長報告

#### ① 平成 23 年度「美し国おこし・三重」の検証、評価について

平成 21 年度に取組が本格的に開始され、約 3 年が経過し、地域によって地域づくりの担い手の掘り起こしなどの状況が異なることが、より明らかになってきたと考えられます。

本取組で支援するパートナーグループの登録が、毎年度減少してきているのは、現在の手法における地域づくりの担い手の掘り起こしの限界に近づいていると考えられ、掘り起こした担い手の支援に注力し、成果の創出をめざすべきで、県民力拡大プ

プロジェクトに向けた取組内容に軌道修正していくべきだと考えます。

また、本取組を推進する立場としても積極的にパートナーグループ等の県内の地域づくりの担い手に、業務委託等を行い、企画や調整などのノウハウ・スキル等の発揮、また更なる習得を促進していくなど、掘り起こしから次のステップへ進む必要があります。

ただし、地域によっては、一層の掘り起こしが必要だと考えられますので、地域実情に鑑みた、適切な取組対象の設定を行う必要があります。

昨年度の報告書に記載しました、「取組全般にわたるノウハウ・専門知識等の地域への移行」につきましては、市民活動センター等の中間支援組織との連携の検討や県内の専門家の活用が進められ、方向性としては評価できる内容になっています。

最後に、情報発信については、その必要性が十分認められますが、県民の皆さんに広く周知するよりも、地域づくりの現場により近い方々に対して行われる方が効果的だと考えられ、SNSの活用など方法の見直しも必要だと考えます。

## ② 「美し国おこし・三重」平成 23 年度プロデュース業務及び平成 23 年度「美し国おこし・三重」地域担当プロデューサー業務の検証、評価について

昨年度と同様、座談会の開催や全てのパートナーグループについて課題の解決、目標の実現に向けた道筋を示すなど、1年間に実施した業務量は十分に評価できます。また、サポートメニューを活用し、パートナーグループの課題解決の一助となった例があるなど、プロデュース業務に一定の成果が表れつつあることも評価できます。

また、パートナーグループに対するアンケート結果からも、「プロデューサーのサポート」について、「満足」、「概ね満足」の回答率が 81.7% (有効回答数/全パートナーグループ数：147/324) と、概ね高い評価を受け、今後に対しても高い期待を持たれています。

しかし、専門家派遣や財政的支援といった支援メニューの活用が低調であり、このようなパートナーグループへの支援は地域づくりの現場により近い所で行われることが望ましいことから、県内の市民活動センター等中間支援組織へのプロデュース業務の移管を進めていくべきです。

平成 24 年度の契約更新については、「1. 平成 23 年度「美し国おこし・三重」の検証、評価について」に記載したとおり、県内一律のこれまでの掘り起こし重視ではなく、地域の実情をしっかりと踏まえ、掘り起こしに加え、掘り起こした担い手の支援に注力し、成果を創出することや、平成 26 年度に実施する県民力拡大プロジェクトが確実に実施でき、単なるお祭りにならないよう、十分な企画・準備を実施することを条件にした上で、可とするものと考えます。

(2) 平成 24 (2012) 年 6 月開催の評価委員会における意見とそれに対する考え方

意 見	対 応 方 針
<p>新しいグループを掘り起して底辺を広げるといふことより、ある程度出来上がってきたところをさらに上に引き上げる戦略を取った方が良いのではないか。</p>	<p>「美し国おこし・三重」取組の基本である住民の皆さんの地域づくり活動を支援する「地域での美し国おこし」には引き続き取り組んでいきますが、今後は、「テーマに基づき全県的に取り組む美し国おこし」にさらに注力し、さまざまな主体による地域づくり活動を全県的・広域的に連携させることで、より情報発信力のある取組として展開し、平成 26 (2014) 年の県民力拡大プロジェクトとその後の自立・持続可能で元気な地域づくりにつなげていきたいと考えています。</p>
<p>県内中間支援組織との連携をさらに進め、中間支援組織へのプロデュース業務の移管を一層推進する必要があるのではないか。</p>	<p>県内中間支援組織へのプロデュース業務の移管については、地域の状況も考慮しながら、引き続き進めていきたいと考えています。</p>
<p>県南部と北部とでは支援の仕方が違って良いのではないか。地域のニーズを精査して、支援内容を構築していくことが大切である。</p>	<p>地域のニーズに応じた支援を行っていくことは大変重要であると考えており、今後も地域事務所職員やプロデューサーなどと情報交換を行う中で、現場のニーズを把握しながら必要とされる事業を構築していきたいと考えています。</p>
<p>県の南部と北部、西部と東部をつなげるようなネットワークの構築に重点を置くべきで、そういう観点でのイベントやパートナーグループ同士のネットワークづくりなどを支援する必要があるのではないか。</p>	<p>「テーマに基づき全県的に取り組む美し国おこし」の取組や拡大座談会、「美し国おこし・三重」サミット(仮称)の開催などを通じ、ネットワーク構築の支援を図ります。</p>
<p>「美し国おこし・三重」の成果(グループがどれだけ地域で貢献していて、それが地域にどれだけいい影響を与えているかということ)を目に見える形で示す広報が必要。また、口コミで広がるような広報に重点を置くべきではないか。</p>	<p>「テーマに基づき全県的に取り組む美し国おこし」の取組やパートナーグループの活動の情報発信を積極的に行うとともに、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)やサポーターズクラブの活用などにより、「美し国おこし・三重」の取組が口コミで広がるような工夫も行い、県民の皆さんの参加・参画を促進していきます。</p>

